

# 木崎中だより

1号

令和4年4月8日(金)  
さいたま市立木崎中学校  
048(886)4302

— 令和四年度も よろしく願いいたします—

校長 稲田 正平

穏やかな日和になり、ここつつじが丘にも春がやってきました。そして幾種もの花が咲き誇る春たけなわの本日、コロナ禍の中で限られた人数の保護者の皆様とともに282名の一年生の入学式を挙行することができました。進級した二年生273名、三年生307名、計862名の生徒とともに、教職員一同、本年度の教育活動の第一歩を踏み出すことができました。新たな思いで木崎中学校の学校生活がスタートしたところです。

令和四年度の本校の教育活動につきましては、学校教育目標「よく考えて行動する生徒 思いやりのある生徒 はつらつとした生徒」のもと、学校経営方針「一人ひとりの生徒が誇りをもち、保護者・地域住民に信頼され、未来を拓く学校の創造」を目指して、生徒一人ひとりを大切にしたい学校経営に励んでいきます。まずは教職員が一丸となって「凡事徹底」「率先垂範」「共汗・共感」のもと連帯感を持ち、生徒一人ひとりに寄り添った教育活動に取り組んでまいります。また、本市の「GIGA スクール構想」のもと、昨年導入した、対面の一斉授業と一人一台の情報端末を活用した授業で効果的な学習指導を一層推進してまいります。特に各教科での学習においては学習の動機づけを重視して取り組むたいと考えております。また各教科の学びはもとより、教科を横断した「探求的な学び」にもつながります。そして、この学びは学校だけでなく家庭での学習にも活用していこうと考えています。また豊かな人間関係づくりのために、コロナ禍ではありますが、木崎中生にはできる限りの工夫を凝らしてさまざまな体験活動も味わわせたいと考えています。さらに本校は今年度、学校運営協議会を立ち上げます。このことによりコミュニティ・スクールとして、地域とともにある学校づくりにも力を注いでいきます。準備段階で話し合われた内容として、「木崎コミュニティ」で活躍する木崎中生の育成のために、**人とのつながりを豊かにする力 粘り強くチャレンジする力**を身に付けさせ、地域の中で活躍する木崎中生を育成したいと考えています。そのためには、学校はもちろん、保護者や地域の方々も、木崎中生に関わる当事者として連携協力することが重要になります。子どもたちが健やかにそして心豊かに安全で安心な環境の下で成長できるよう、引き続き地域との関係を深め、保護者と地域の皆様と協働して取り組んでいきたいと考えています。本校の生徒が5年後、10年後、変化の大きい現代社会を力強くたくましく生きていくために、学校と地域、保護者が一体となって本校の生徒の育成に関わっていけるような組織にしたいと考えています。しかしながら、教育の不易を忘れてはなりません。校風の普遍化を目指し、「さわやかなあいさつ」・「少しの気配り」・「響く校歌」の3つをキーワードとして、地域を元気にする学校となるように継続して取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染に関しては、今後も感染予防に努めなければならない日々が続きます。三密を避ける、手指消毒、十分な換気、マスクの着用など基本的な感染対策に留意しながらの生活になります。保護者の皆様や地域の皆様も健康にご留意いただきながらお過ごしください。なお、昨年のようにご来校いただける機会が限られることもあろうかと思っております。また、毎日の検温や体調管理などでは保護者の皆様にご協力を仰ぐことも多いことと存じます。何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。